

GUITAR AMPLIFIER

JAZZ CHORUS JC-120

取扱説明書

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.3)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

安全上のご注意

マークについて 本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットをあけないでください。	
<p>注意： 感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。 修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。</p>		

 このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	<p>取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。</p> <p>※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。</p>

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

⚠ 警告

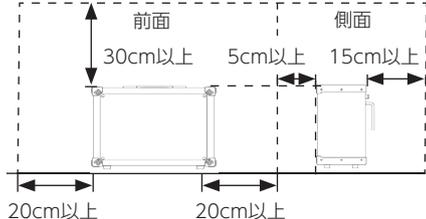
完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されていません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



⚠ 警告

次のような場所で使用や保管はしない

- ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・ 湯気や油煙が当たる場所
- ・ 塩害の恐れがある場所
- ・ 雨に濡れる場所
- ・ ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・ 振動や揺れの多い場所
- ・ 風通しの悪い場所



不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流 (AC) 100V の電源コンセントに差し込んでください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



⚠ 警告

大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- ・ 電源コードが破損したとき
- ・ 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
- ・ 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない
破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります (P.5)。



通気口を塞がない

新聞紙、テーブルクロス、またはカーテンなどで、本機の通気口を塞がないでください。



火の付いているものを置かない

本機の上に火の付いているもの (ローソクなど) を置かないでください。



注意

電源コードはプラグを持って抜く
断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。

定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。



長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



動くとき危険な場合は、すべてのキャスターをはずす

本機を設置するときや車に積むときなど、動くとき危険な場合は、すべてのキャスターをはずしてください。



注意

上に乗ったり、重いものを置いたりしない
転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



やけどしないように注意する

本体背面の金属部分は高温になりますので、やけどしないよう注意してください。



使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品 (冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど) と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム (うなり) を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く (結露する) ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解 (取扱説明書に指示がある場合を除く)、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかけられないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

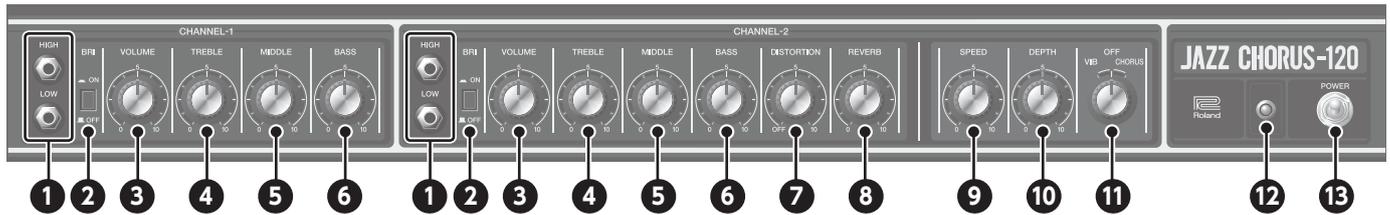
Español

Português

Nederlands

各部の名称とはたらき

フロント・パネル



1 インット端子

ギターの出力レベルに応じ、ハイ (HIGH) かロー (LOW) に接続します。通常は、ハイに接続します。特に出力が大きいギターの場合は、ローに接続します。

※他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

2 ブライト・スイッチ

スイッチをオンにすると、より歯切れの良い音を得られ、ハードな音質になります。

3 ボリューム

右にまわすほど、音量が大きくなります。

4 トレブル

右にまわすほど、高域が強調されます。

5 ミドル

右にまわすほど、中域が強調されます。

6 ベース

右にまわすほど、低域が強調されます。

7 ディストーション

右にまわすほど、音が歪みます (ディストーション効果)。オフ (OFF) にするとディストーションがかかりません。

8 リバース

右にまわすほどリバース (残響) の音量が大きくなります。

9 ビブラート・スピード

右にまわすほどビブラート効果の周期が速くなります。

10 ビブラート・デプス

右にまわすほどビブラート効果が深くかかります。

11 コーラス/ビブラート切り替えスイッチ

コーラス効果とビブラート効果の切り替えをします。オフ (OFF) にすると、どちらの効果もかかりません。

※コーラス効果のスピード、デプスは変えられません。

12 パイロット・ランプ

電源をオンにすると点灯します。

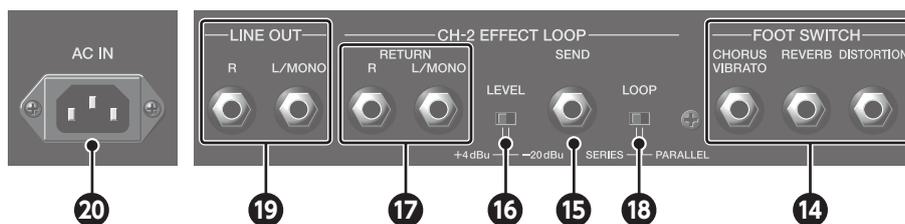
13 電源スイッチ

電源をオン/オフします (P.6)。

※完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。

詳しくは「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く」(P.2) をお読みください。

リア・パネル



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

14 フットスイッチ端子

フットスイッチを接続すると、コーラス/ビブラート、リバーブ、ディストーションをそれぞれオン/オフできます。

※このフットスイッチをオンにしても、つまみ **7** や **11** がオフ (OFF) になっているとエフェクトがかかりませんので注意してください。

15 CH-2 エフェクト・ループ・SEND端子

外部のエフェクターへ生音 (エフェクトが付かないドライ音) を送り出す端子です。

16 CH-2 エフェクト・ループ・レベル・スイッチ

エフェクト・ループの入出力レベルを切り替えます。接続機器の入出力レベルに応じて +4dBu と -20dBu を切り替えてください。接続機器の入出力レベルが高い場合は +4dBu に設定し、低い場合は -20dBu に設定します。

17 CH-2 エフェクト・ループ・リターン端子

外部エフェクターからの戻り (リターン) の音を入力する端子です。エフェクト・ループ・リターン端子には、L/Rの2つの入力がありステレオ対応となっています。なお、モノで使うときは、L側の端子を使ってください。

※モノで使う場合、リターン音をリターン端子Rに入力しても、リターン音はスピーカーから出力されませんので注意してください。このようにL側の端子を使っていないときは、ループ・スイッチが PARALLEL、SERIES のどちらであっても、生音だけが出力されます。

※電源を切ってからリターン端子へ接続してください。

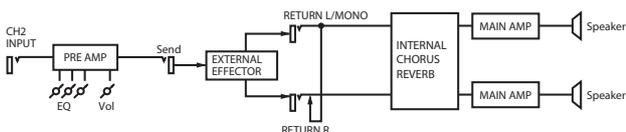
18 CH-2 エフェクト・ループ・スイッチ

エフェクト・ループ回路で、シリーズ接続とパラレル接続を切り替えます。

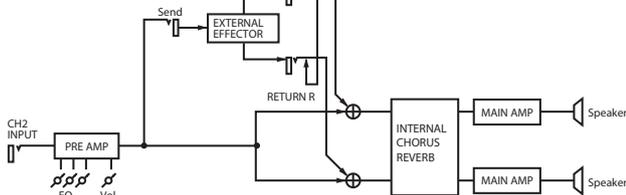
PARALLEL にすると、外部エフェクト音と生音 (エフェクトが付かないドライ音) がミックスされます。

SERIES にすると、外部エフェクト音は生音とミックスされません。

SERIES



PARALLEL



19 ライン・アウト端子

他のギターアンプのライン・インやミキサーに接続したり、テープ・デッキに接続して録音するときに使います。なお、モノで使うときは L/MONO に接続してください。

20 AC IN 端子

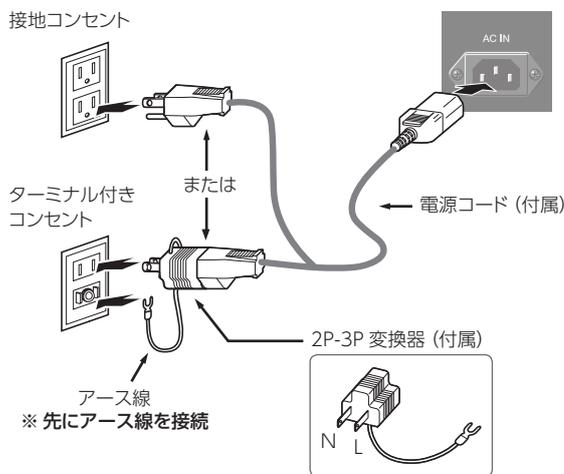
付属の電源コードを接続します。

電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた3端子のプラグが付いています。

接地コンセント



- コンセントが接地コンセント (端子穴が3個) の場合そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント (端子穴が2個) の場合プラグに 2P-3P 変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。

警告

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

電源を入れる

- ※ 正しく接続したら (P.5)、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる/切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる/切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. 本機のボリュームつまみと、本機に接続されている機器の音量が、「0」になっていることを確認します。
2. ライン・アウト端子以外に接続されている機器の電源を入れてください。
3. JC-120 の電源を入れてください。
4. ライン・アウト端子に接続されている機器の電源を入れてください。
5. 各機器の音量を調節します。

キャスターを取り付ける

JC-120 には、運搬に便利なキャスターを付属しています。
工場出荷時には、キャスターを取り外してあります。
キャスターは図のように脱着できます。

本機のフロント面



- ※ 必ず、安定した水平な場所で使用してください。
- ※ 安全のため、2人以上で作業してください。
- ※ 指や足をはさまないようにご注意ください。

主な仕様

定格出力	120W
スピーカー	30cm (12 インチ) × 2
電源	AC100V (50 / 60Hz)
消費電力	130W
規定入力レベル	-30dBu (680k Ω)
接続端子	CH-1 インプット (ハイ/ロー)
	CH-2 インプット (ハイ/ロー)
	フットスイッチ (コーラス/ビブラート、リバーブ、ディストーション)
	CH-2 エフェクト・ループ・センド端子
	CH-2 エフェクト・ループ・リターン端子 (L/MONO、R)
コントロール	ライン・アウト端子 (L/MONO、R)
	CH-1: ブライト、ボリューム、トレブル、ミドル、ベース
	CH-2: ブライト、ボリューム、トレブル、ミドル、ベース、ディストーション、リバーブ、ビブラート・スピード、ビブラート・デプス、コーラス/ビブラート切り替えスイッチ
電源スイッチ、CH-2 エフェクト・ループ・スイッチ、CH-2 エフェクト・ループ・レベル・スイッチ	
外形寸法	760 (W) × 280 (D) × 622 (H) mm (キャスター含む)
質量	28.7kg (キャスター含む)
付属品	取扱説明書、保証書、電源コード、2P-3P 変換器
別売品	フットスイッチ: BOSS FS-5L、FS-6、FS-7

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。